

# 初任研 だより

糸島市立一貴山小学校  
平成27年10月13日（火）  
安河内 勇一

4年1組の子どもたち、寺山先生ありがとうございました！

【単元名】「面積」

【本時目標】

- 複合図形の面積を意欲的に求めようとしたり、考え方を説明したりしようとするこ  
とができる。 (関心・意欲・態度)
- 複合図形の面積を、補助線を用いて長方形に分けたり、補って長方形にしたりして、  
公式を用いて正しく求めることができる。 (技能)
- 図や式、言葉を使って、自分なりの求積の方法をわかりやすく説明することができる。  
(数学的な考え方)

【本時展開】

1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。

(1) 前時学習を振り返る。

- 長方形・正方形の面積の公式を振り返ること

(2) 本時学習のめあてをつかむ。

- 複合図形を見て解決の見通しをもつこと

・2つに分けて考える ・つぎ足して考える

ふくざつな図形の面積の求め方を、式や言葉で分かり  
やすく説明しよう。



【自力解決の様子】

2 見通しをもとに、図や式を用いて、図形の面積の求  
め方を自分で考える。

- 自力解決する。

・あらかじめ答えが21cm<sup>2</sup>である  
ことを伝え、証明することを  
意識させる。

・図と式、言葉を関係づけて  
説明させる。



3 ペア交流・全体交流で考え方を交流する。

- 考え方を交流する。

【説明例】

まず、縦の線を入れて2つの長方形に分けます。

2つの長方形をそれぞれア、イとします。

次に、面積の公式を使って、2つの長方形の面積を  
出します。

アの長方形は、たて×横なので  $2 \times 4 = 8$  8cm<sup>2</sup>と  
なります。

イの長方形は、 $5 \times 3 = 15$  15cm<sup>2</sup>になります。

最後に、2つの長方形の面積をたします。

すると、 $8 + 15 = 23$  答え23cm<sup>2</sup>になります。

※練習問題をする。(時間足らずカット)

4 本時学習のまとめをする。

ふくざつ図形は、長方形や正方形に分けたり、つぎ足  
したりして、面積の公式を使って求めることができる。



【ペア交流の様子】



【全体交流の様子】

## 【寺山先生の自評】

○本時目標を達成するための手立てとして大きく3つ考えた。

- ①図と式、言葉を関係付けて説明できるようにプリントの工夫をしたこと
- ②つまずきのある児童への具体的なヒントカードを作成したこと
- ③「説明」の教師のモデル提示を行ったこと

○達成状況は、50%位であった。その理由は、練習問題をする時間が取れず、面積の求め方と説明の仕方のどちらも習熟を図ることができなかったから。

## （元村指導主事の指導・助言）

### ①学級経営について

- ・子どもたちが先生のことが好きなことがわかる。
- ・教師の視点は、発表している子にだけでなく、全体を見渡すことが大切である。
- ・算数の学習指導過程はよくできていた。基盤はできている。
- ・説明の仕方やノート、交流等積み上げがあった。既習図が理解に役立っていた。積み上げていって欲しい。
- ・数字や記号、書き順等は正しくするよう心掛ける。

### ②授業構想について

- ・指導案がとてもいい。系統性、児童の実態、目標と評価規準等、しっかりと記述してあった。
- ・自評の述べ方がばっちり、分析できている。
- ・教科書の問題の並びや数値には意味があるのでしっかりと教材研究することが大切である。
- ・必要な部分を実測させる活動は、活用力を高める上でとてもよかった。

### ③本時学習について

- ・単元全体を考えた本時学習指導が大切である。
- ・問題提示は重要で、間をおき、考える時間をとる。
- ・「長方形と正方形」が見通しで出るような発問をし、図に線を書き込ませるようにする。
- ・評価基準をもつこと。A評価とB評価を考えておく。
- ・板書は、すっきりしていて子どものノートと同じでとても見やすかった。
- ・交流のやり方は、いろいろある。一人で発表するのではなく、フロアにいる全員に説明を求めることもある。
- ・子どもが発表している時に、必要な数値や線等を教師がわかりやすく板書して、補足することが大切。
- ・一般化するためには、練習問題までいかなければならなかった。「速くて、簡単、正確」＝「はかせ」を考えさせ、一般化していくことが算数科学習。



【机間指導の様子】



【モデル提示の様子】



【授業後の板書】

## 【今回の研修で寺山先生に学んで欲しかったこと】→大変よくできました！

### ○指導案の作成法

- ・算数科は特に学年間の系統性を理解しておくことが大切です。しっかり調べました。
- ・児童の実態を調査分析し、課題を明らかにして高めたい力を決めました。

### ○研究授業で主張点をもつこと

- ・今回の主張点は、「説明する」ことでした。面積を求めるだけでなく、説明させるために、教師のモデルを作ったり、学習プリントを工夫したりしました。

### ○算数科の学習指導過程の確立

- ・めあてのめたせ方は、前時と本時の比較から、見通しをもたせる。
- ・自立解決→交流→まとめ→練習問題→振り返りのスタイルの確立

